

参加者アンケート

戦争・被爆の体験をされた方は年々高齢化し、私たち若者が今度は平和の大切さを語りついでいなくてはなりません。子ども平和会議に参加した子どもたちのアピール文を聞いて希望が胸に湧いてきました。

(20代男性)

親族がこの長崎の原爆で死亡したことで、その人たちの供養に来ることができ、この催しに出席させて頂き、子どもたちが平和について真剣に取り組んでいることに感銘を受けた。(70代男性)

ハンドベルの音色が優しく、心を落ち着かせてくれました。活水高校の「ふりそでプロジェクト」や「ナガサキアーカイブ」に対する熱い思いを知り、とても高校生とは思えない、大人のような取り組みに感動した。ヒバクシャの悲しみや怒りが72年たった今でも続いている、改めて核廃絶を強く思いました。(40代女性)

ひまわりの唄を聞いて、みんなと変わらぬ人間でありながら、被爆者となったことで特別な存在となる苦しみは涙が止まりませんでした。(40代女性)

これまで平和について学校やテレビを通じて学んできましたが、今回初めて長崎という被爆地で平和について学ぶことができます。長崎という地域で平和とは何か、自分には今後何ができるのかしっかり考えたいと強く感じました。(20代女性)

暑い暑い2日間でした。でも本当に長崎に来てよかったです。街は優しかったです。私たち生きているものとして広島、長崎に来て戦争も核兵器もない平和な未来をそれぞれの地域で努力したいと感じました。

(60代女性)

高校生や子ども平和会議等若い世代にしっかり引き継いでいかれている点がとても良かったです。平和が当たり前でないこと、平和のために皆が努力し続けることが大切なことをもっと知ってもらおう、それぞれの場所で行動していきたいと思いました。(40代女性)

子ども平和会議に全国より参加者があり、平和について話し合ってくれたり本当に嬉しく思います。これからもこのような素晴らしい輪をもっともっと大きく広げていってほしいと思いました。世界中が一日も早く戦争のない日が来てくれるように、みんなの心に届きますように。ひまわりの歌声が心に染みました。

(60代女性)

初めて参加して初めて被爆者の方の生の声を聞いて改めて怖さを知りました。私自身戦争や核兵器の本当の怖さを知りません。2017 ピースアクションに参加してすごく良い経験をすることができました。もっとたくさんの若い人にも聞いてほしいです。(大学生男性)

私は恥ずかしいことに、長崎の原爆についての知識があまりなく、被爆者のお話や平和学習部のお話を聞いて知ることができました。今回聞いたお話や子どもたちの想い、署名活動への想いは決して忘れないでおこうと思いました。全国の小学校、中学校でももっと深く学習する時間がほしいと思いました。(大学生女性)